

## 「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 大佐野区

日 時 平成 20 年 5 月 13 日(火) 19:05 ~ 20:46

場 所 大佐野公民館

出席者 (市 民) 20 人

(執行部) 16 人

井上市長、平島副市長、關教育長、石橋総務部長、  
三笠協働のまち推進担当部長、関岡市民生活部長、  
松永健康福祉部長、木村建設経済部長、古川上下水  
道部長併会計管理者、松田教育部長、白石議会事務  
局長

(事務局) 今泉経営企画課長、小嶋広聴広報係長、高原主任主査、  
大藪協働のまち推進課長、諫山地域コミュニティ推進  
係長

会議内容 ( 進行：今泉経営企画課長 )

- 1 開会あいさつ ( 経営企画課長 ) 19:05 ~
- 2 区長あいさつ ( 区長 ) 19:07 ~
- 3 市長あいさつ ( 市長 ) 19:12 ~
- 4 市職員自己紹介 ( 経営企画課長 ) 19:25 ~
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:27 ~
- 6 「懇談」質疑・意見交換 ( 経営企画課長 ) 19:45 ~  
( 別紙 )
- 7 閉会あいさつ ( 副市長 ) 20:45 ~ 20:46

	質問・意見等	市長回答
意見 1	<p>大佐野の下水道事業がだいたい終わったが一部は終わっていない。まだ下水道事業について、上の方で完備されてない所がある。水は上から下に流れるので、建築許可をするときにその話が出なかったのか。</p>	<p>(市長)  水利組合の会議のときにも水源祭のときにも絶えずその話はお聞きしております。おおさの川を愛する会などのボランティアなど多くの活動をなさっております。なるべく早いうちに担当課とも調整して繋ぐ方向でやっていきたいと思っております。</p> <p>(区長)  今の件で補足として、宰府園は下水道を通してくれという要望が多いが、光明教会の方は屋敷が広いのでそれだけ中の整備をしなければならない。そういったことで市としては早く引きたいが話し合いが終わってないと聞いている。何れにしても要請しないと川が臭く、区としても要望している。</p>
意見 2	<p>まほろば号の件で4月1日から新しく路線が改正されているが、例えば、大佐野から市役所まで行くのに、西鉄都府楼前駅で乗り換えなければならない。これは大佐野だけでなく、旧水城地区は全部である。学生や年寄りの方が乗り換えるのは面倒である。寒い日などは、一旦降りて乗り換えるのは不便である。北谷・内山は乗り換えなくていい。福岡農業高校の生徒も減った感じがする。せめて太宰府駅まで乗り換えなくていいような路線を作ってもらいたい。</p>	<p>(市長)  4月1日の改正に対して非常にそういった意見の方が多くおられます。市役所まで来るのに時間的、経済的にデメリットのある地区のため、まほろば号は平成10年に開通しましたが、1つの難点として、太宰府西校区から内山までなど1路線17~18kmあり、一巡するのに時間的に1時間かかっていました。朝夕のラッシュ時バスが遅れることもあり、また料金も乗り換え毎に支払わなければなりません。これらの課題を克服するため、西鉄都府楼前駅にバスセンター的機能をもたせ、バスとバスのダイヤ間隔を短くし、携帯電話で運行情報が取得できるなどのシステムを取り入れま</p>

		<p>した。</p> <p>プラス面とマイナス面があると思いますが、代替措置といたしまして、待合室を広くするための予算を6月補正する予定です。また全体の中で不都合な点がありましたら見直しを行っていきたいと考えています。</p>
意見3	<p>移動図書館「すくすく号」について。大佐野公民館に到着した時に、コミュニティ無線を活用して利用の呼びかけをして欲しい。利用が増えるのではないかと。「すくすく号」が来ていることを知らない人も沢山いる。</p>	<p>(市長)</p> <p>その通りだと思います。現在第2・第4土曜日の開庁についても放送いたしております。また、市の大きな行事についても情報発信することもあります。市の行事に限らず公民館独自の行事を含めて、コミュニティ無線を活用していただきたいと思います。このコミュニティ無線は、平成15年度の災害を機に、有事の際に市民の皆様に速やかに情報発信できるように各行政区に整備しました。緊急時だけでなく色々なコミュニティ活動の中でも活用していただきたいと思っています。「すくすく号」については、活用するよう周知徹底いたしたいと思っています。</p>
意見4	<p>高齢化が進むと医療費が増えてくる。予防医学が必要でないかと思う。これについて市はどう考えているか。</p>	<p>(市長)</p> <p>医療費の増高については、団塊の世代が高齢化するにつれ、今以上に増えてくると思います。これを如何に抑制していくかは、予防が大切で、保健センターを中心に行っております。介護についても同じで、筋力トレーニングなどで予防していく方向が正しいと思います。全国的にも保健予防に動いていることは事実です。健康な市民をいかに多く増やして行くかは、まちづくり歴史公園を整備しておりますし、</p>

		また地元の大佐野公園などを歩いていただくことで、それが健康につながり、延いては医療費の削減につながっていくこととなります。その辺の予算に市税を使っていくことが大事なことで、市もその方向に軸足を置き、シフトして行っております。
意見 5	そのために公園などを整備してもらっているが、すぐには出来ない。そこで、市が音頭をとって市民みんなで町内どこでも体操することを提案する。病気にかかってからでは遅い。	(市長) 歩こう会など色々な取組みがあります。歴史スポーツ公園などでもラジオ体操をする光景が見受けられます。それらを広げて行くことが大切と思います。ひとりでも多く健康な方を増やしていくためにも、このことは、総合行政として進めて行きたいと考えます。
意見 6	大佐野地区において、住居表示がされたが、住居表示案内板無いため、業者が公民館に尋ねに来る。できるだけ早く設置してほしい。	(市民生活部長) 担当課長に指示し、連絡させます。
意見 7	コミュニティ無線が聞こえないところがある。高速道路の所は聞こえないなど、区域全部に聞こえていない。	(市長) 現在 17 時に音楽を鳴らすようにしております。コミュニティ無線については、評価しながら増やしていくように考えております。各公民館に有線放送があるところもありますが、できればコミュニティ無線の方向で検討して行きたいと思います。
意見 8	2 年前に引越ししてきた。JR 太宰府駅が出来ると聞いていたが、災害で延期したと聞いた。その後の計画はどうなっているのか。	(市長) 私の選挙公約にも掲げておりますが、「JR 太宰府駅」は佐野東地域の核として位置づけ、平成 20 年度中までに見通しをつける方向で動いております。初めに「駅有りき」ではありません。それは地元の方の意向あるいは財政状況も総合的に勘案しながら、周辺

		<p>地域の面的整備を含めて考えたいと思います。議会においても特別委員会が設置されております。商業地域やホテルをどういう風に配置するかなど、物語が無いと、ただ単に駅を造るのでは発展しないと考えます。過去には水の問題もありましたが、現在は人口8万人から9万人までは大丈夫です。予定地には、筑紫野もあり太宰府だけではできない部分もあります。全体的にそういったところを見据えることが大切と思っています。この地域を開発することによって、人口がまた増えます。そのことがいいのか悪いのかの検証、また、西鉄都府楼前駅まであるいは太宰府天満宮までどうつなげていくかなど公共交通機関を含めて検討していかなければならないと考えています。全国からJRに降りられても、ツールがなければ、また時間が読めないとかいうことになれば、そっぽを向かれることになり兼ねません。そういったことで、平成20年度中にはまとめあげていきたいと思っています。</p>
意見 9	<p>開発もあるが、区画整理で大佐野川が変わってしまった。また農地もほとんどなくなった。太宰府地区としては、用途地区の問題もあるがほとんどない。農業後継者をどのように育てていくかをどのように考えていかなければならない。色々な施設を造るときに土地を提供し、農地が潰れている。それを提供したのは農家である。それについての処置を考えていただきたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>農業の問題については、今まで市の自然景観、農地等については、農地耕作者が守ってきたと考えています。全国的に後継者不足の問題がありますが、課題も多く、農業振興地域でない太宰府市の本来のあり方が問われていると思います。農地が潰れてきており、それは後継者が不足していることが悪循環としてあるのかもしれませんが、厳しい現状があるかもしれません。</p>

		<p>が、糸口はあると思います。JR太宰府駅についても、まず「駅有りき」ではないと申し上げているのは、そのようなことからです。例えばの話ですが、固定資産税の減免や色々な形で奨励することも農業政策のひとつとしてあると考えます。今後の推移を見ながら考えて行きたいと考えます。</p>
意見 10	<p>今年から、大佐野地区について、山の買上を再開していただきありがたく思っている。自分が高校生のころ、植林組合で植林し、立木で退職金になるのではないかとの理念を持っていた。現在においては、立木の保証はゼロとなっている。そこで当時植林した者の夢があるので、買上時期を前倒しし、期間を縮めてほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>ダムの上の買上は、年 5000 万という形で再開をいたしました。史跡地の買上は 95%の補助がありますが、それでも 20 年から 30 年かかります。大佐野の買上についても同じぐらいかかると考えています。大佐野は市単独事業であり、平成 24 年に財政状況が好転すれば、増額の見直しも可能になると思います。当面市の「身の丈にあった行政運営」、その額が 5,000 万であります。好転すれば協議して増やしていく方法で検討はしたいと思います。</p>
意見 11	<p>予防医学の件で、日本で一番は長野県です。福岡は 36、37 番目です。今後、市単独事業では相当な金額がかかるので難しいと思う。民間と一体になって施設を造っていくのも 1 つの方法と思うがどうか。長野県はそのような施設によって、補助金が減っている厚生省で発表された。</p>	<p>(市長)</p> <p>了解しました。今からもそのようなご意見をお聞かせいただきたいと思います。一緒になってまちづくりに取り組んでいただけたらというのは、そういったところです。ありがとうございます。よろしく願います。</p>